2010年度

科目名	絵画・工芸（含、理論）				
担当教員	古林　茂				
配当	教福1(6212)			コード	13490
開期	通年	講時	月曜日3限	単位数	2
授業テーマ	・造形による表現力を高める				
目的と概要	絵画・工芸等の造形表現にある専門的知識・技能を修得するとともに、自らの教養を高める。学習は心を「形や色」に置き換えて表現する造形活動であり「知と感と技」の習得活動である。表現作品は「上手さ」よりも「誠実さ・工夫」が評価の対象となる。造形の学習活動は、点、線、面、色、塊と造形要素に基づいて展開するので理論理解と技の習得に集中することが肝要である。欠席は減点とする。2回生履修保育内容や3回生履修の図画工作科教育法と連動する。				
成績評価法	(1)日常の学習姿勢(2)実習作品(3)美術館鑑賞レポート(4)実技テスト(5)学習自己評価カード等により総合的に評価する。				
テキスト	特に定めない。				
参考書	・随時紹介する。 ・担当教員より講義・学習資料(ワークシート)を供与する。				
履修に当たっての注意・助言	・個人準備物は忘れないこと。 ・随時美術館の鑑賞学習(個人)を行い、学習シート記録(用紙は配布)を12月末に提出すること。 ・返却された作品等は整理して個人記録の作成を行い、保育内容、図画工作科教育法等の資料研究や教育実習・教員採　用試験・保育士採用試験(理論と実技)等々で活用を図ること。				

講義計画

第１回　オリエンテーション、レタリング
第２回　「線描」
第３回　鉛筆デッサン
第４回　パス表現「パスの基本」
第５回　パスの技法いろいろ（１）
第６回　パスの技法いろいろ（２）
第７回　パスの技法いろいろ（３）
第８回　「パスと水彩」の技法
第９回　「色彩ワーク」（色彩論）
第10回　水彩表現の基本（１）色遊び
第11回　水彩表現の基本（２）色溶き
第12回　水彩表現の基本（３）色塗り
第13回　水彩の技法いろいろ（１）
第14回　水彩の技法いろいろ（２）
第15回　水彩の技法いろいろ（３）
第16回　「貼り絵」表現の技法
第17回　紙による立体表現
第18回　粘土による立体表現（１）
第19回　粘土による立体表現（２）
第20回　版画の技法（１）紙版
第21回　版画の技法（２）スチレン版
第22回　版画の技法（３）紙版・スチレン版の刷り
第23回　道具を使う・木工作（１）
第24回　木工作（２）
第25回　木工作（３）
第26回　「造形遊び」
第27回　日本美術史
第28回　西洋美術史
第29回　理論テスト
第30回　まとめ・学習自己評価